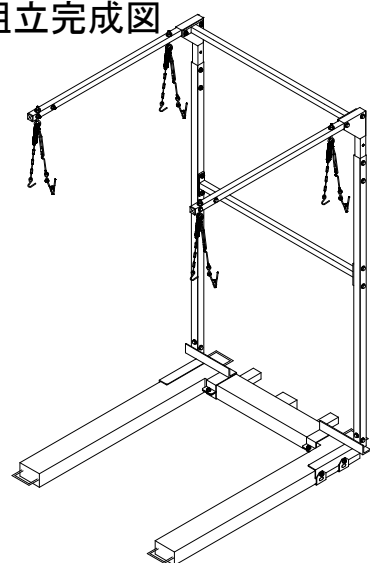


フレコンバッグホルダー

FSB900F
後方支持ホルダー

組立完成図



注意
台秤の種類により据付方法が異なります。



2-3 設置手順

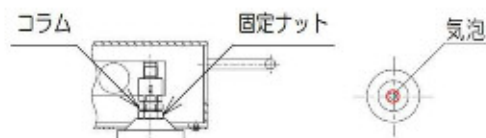
① 計量器を設置する場所に置きます。

- (一人で移動させる場合)
キャスタ取付面と反対方向のハンドルを両手で持ち上げます。キャスタで設置場所へ移動させ、静かに下ろして下さい。
- (二人で移動させる場合)
両側のハンドルを二人で同時に持ち上げます。計量器を浮かせた状態で設置場所へ移動させ、静かに下ろして下さい。

② アジャスタで計量器の気泡式水準器を調整します。

調整用扉を開け、固定ナットを緩めて下さい。その後にコラムにスパナを掛けて高さ調整を行い、固定ナットを締めて下さい。

下図の様に気泡式水準器の中の気泡が赤い丸の範囲内であれば、計量器がほぼ水平であると言えます。水平の調整が終わったら計量器の四隅にガタツキがない事を確認して下さい。ガタツキがある場合、再びアジャスタで調整を行って下さい。



フレコンバッグホルダー

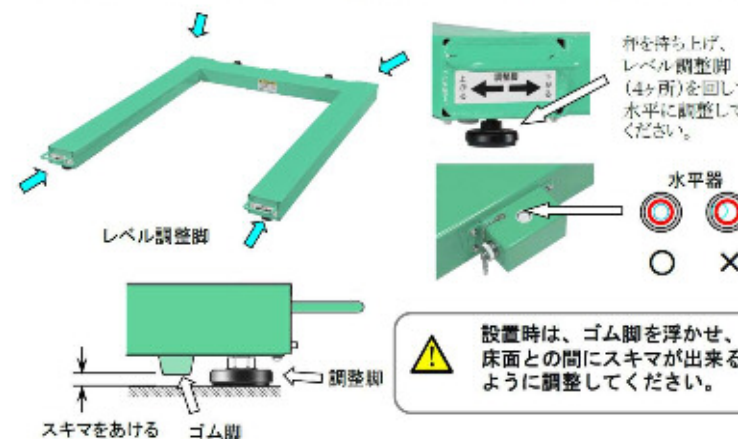
FSB900F
後方支持ホルダー

台秤据付手順 (詳細は台秤同梱の取扱説明書を参照してください)

- 1、強度のある水平な床面に台秤を設置してください。
- 2、調整脚(4箇所)を回して水平を調整してください。
→ ゴム脚を浮かせ、床面との間にスキマができるように調整してください。
→ ガタつかない様に水平器を確認しながら調整してください。

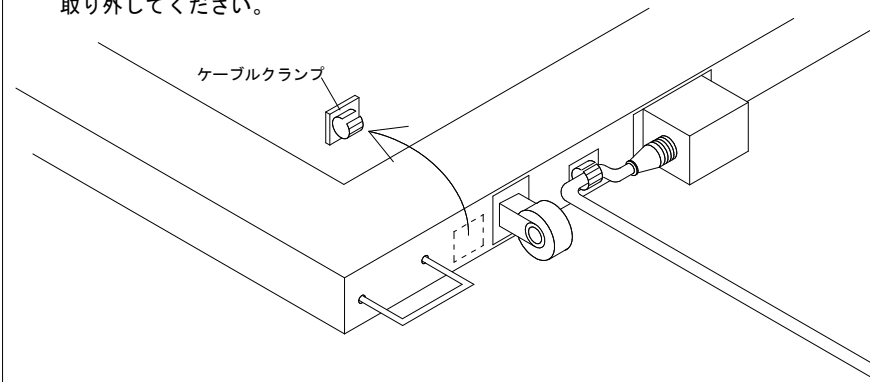
③ レベル調整

設置場所にUFスケールを置き、レベル調整脚をガタつかない様に水平に調整してください。



ケーブルクランプの取り外し

* 後方支持ホルダーを取り付ける場合、台秤に付いているケーブルクランプを取り外して下さい。



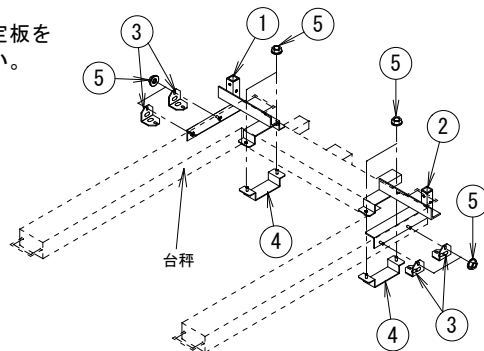
フレコンバッグホルダー

FSB900F
後方支持ホルダー

ベース部取付

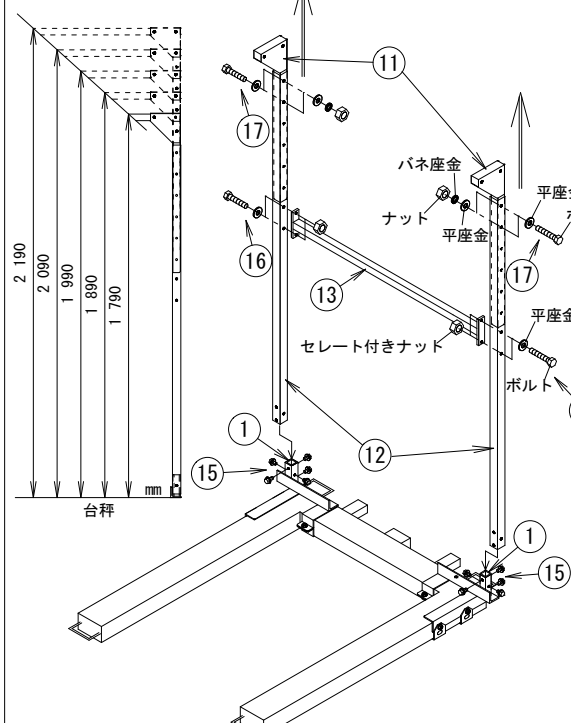
- ①②ベース脚を台秤上に置き③④固定板を使用して⑤ナットで固定してください。

① ベース脚 20	1
② ベース脚 21	1
③ 固定板 20	4
④ 固定板 21	2
⑤ M8セレートナット	8



共通部組立

- ①、⑫スライドパイプ下を①②ベース脚に差込み⑮ボルトで固定してください。
- ⑫スライドパイプ下に⑬パイプ中を⑯ボルトナットセットで固定してください。
- 使用するタンクやフレコンバッグに合わせて⑪スライドパイプ上を上下させて高さ調節をしてください（5段階高さ調節が可能です）。⑰ボルトナットセットで⑪⑫スライドパイプを固定してください。



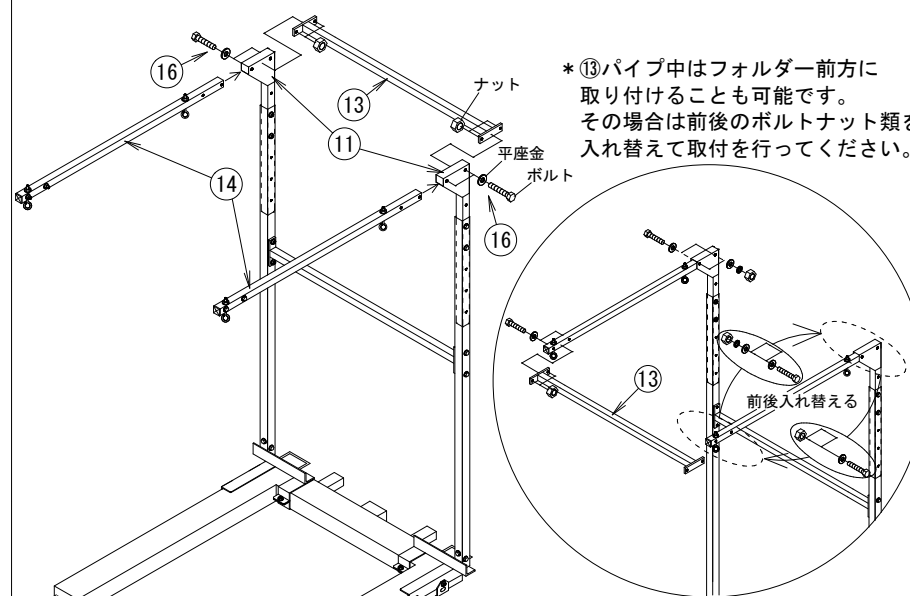
* 平座金類の取付順、またパイプが変形するのでボルト類の締め付け過ぎには注意してください。

⑪ スライドパイプ上	2
⑫ スライドパイプ下	2
⑬ パイプ中	2
⑭ パイプ上	2
⑮ ボルトM8×20P3	10
ボルトM8×60半ネジ	8
⑯ 平座金8×26×2.3	8
セレート付きナットM8	8
ボルトM8×55半ネジ	4
平座金8×26×2.3	8
⑰ バネ座金M8	4
ナットM8	4
吊りバネ	4
吊鎖	4
⑱ クランプ	4
吊りゴム	4

フレコンバッグホルダー

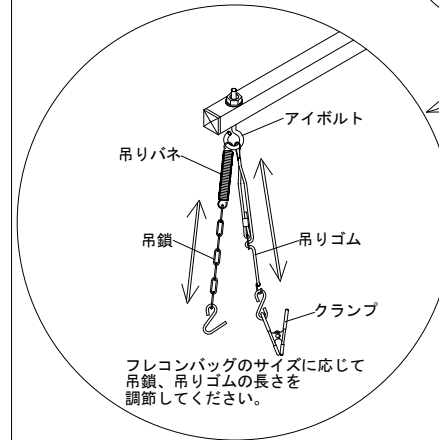
FSB900F
後方支持ホルダー

- ⑭パイプ上を⑪に差込み⑬パイプ中と共に⑯ボルトナットセットで固定してください。



* ⑬パイプ中はフォルダー前方に取り付けることも可能です。その場合は前後のボルトナット類を入れ替えて取付を行ってください。

- ⑱バネクランプ類を⑭パイプ上のアイボルトに取り付けてください。



アイボルト
吊りバネ
吊鎖
吊りゴム
クランプ

フレコンバッグのサイズに応じて吊鎖、吊りゴムの長さを調節してください。